

平成28年度「山形市スポーツ懇談会」

『オリンピック4連覇への軌跡』

平成28年12月3日（土）山形国際ホテルにて、山形市のスポーツ関係者を一堂に会し、当協会主催の山形市スポーツ懇談会を開催いたしました。

今回のスポーツ懇談会講師は、アテネ・北京・ロンドン・リオデジャネイロオリンピック女子レスリング競技の金メダリストである伊調 馨選手。また、支える立場として、レスリングのコーチであり、馨選手のお兄さんでもある、伊調 寿行氏をお招きし、オリンピックでの実体験や選手としての練習方法また、コーチからの目線など、実体験を基に講演していただき、沢山のスポーツ関係者の皆様にご参加していただきました。

【 講 師 】



イチョウ カオリ

伊調 馨

Kaori Icho

出身大学：至学館大学（旧中京女子大学）

所属：ALSOK

～成績～

- オリンピック 金メダル
⇒ (2016【リオデジャネイロ】2012年【ロンドン】2008年【北京】2004年【アテネ】4大会連続金メダル)
- 世界選手権大会 優勝
⇒ (2002年・2003年、2005年～2007年、2010年、2011年、2013年、2014年、2015年)
- 全日本選抜選手権大会（旧全日本女子選手権大会） 優勝
⇒ (2002年～2008年、2010年、2011年、2013年～2015年)
- 全日本選手権大会 優勝 ⇒ (2002年～2007年、2009年～2011年、2013年、2014年)
- ヤリギン国際大会 優勝 ⇒ (2011年、2012年)
- アジア選手権大会 優勝 ⇒ (2004年、2005年、2008年、2011年)
- アジア大会 優勝 ⇒ (2006年)、準優勝 ⇒ (2002年)



イチョウ トシユキ
伊調 寿行
Toshiyuki Icho

出身大学：専修大学
所属：ALSOK

～成績～

- 全日本ジュニア選手権大会 第3位
- 全日本大学選手権大会 第4位

<山形市スポーツ懇談会の概要>

『オリンピック4連覇への軌跡』と題し、司会者とのトーク形式で懇談会を講演した。

司会者からは、「オリンピック4連覇。あれから3か月経ちますが、改めて金メダルの喜び・重みはどんなものですか。」「リオオリンピック58キロ級決勝の舞台。粘り強く攻守の姿勢を貫いての大逆転。改めて振り返るといかがですか。」「お兄さんはどんな気持ちで見守っていましたか。」などの質問があった。

伊調選手からは、「喜びは正直ない。それよりも内容が悪く、悔しさの方が大きい。もう一度あの選手と対戦したい。」「皆さんが大変喜んでくれて、金メダルで良かった。」「一回戦から調子が悪く、体が強張って動かなかった。」などと実体験を基にお話しをいただいた。

寿行氏からは、「伊調選手は、3人兄弟の末っ子であり、甘えん坊であった。こんなに立派になるとは。レスリングに対してはストイックであり、大変、練習熱心である。」「オリンピック4連覇は大変難しい。残り30秒で負けると思った。プレッシャーを感じていると思った。相手のミスを誘って逆転に繋がったと思う。」などとコーチ目線また、兄目線でのお話しをいただいた。

最後に記念品の贈呈と花束の贈呈があり、山形市スポーツ懇談会を終えた。

<山形市スポーツ懇談会の様子>

